

# 5 壁組み・分担・楽しく作業★

## ポイント①

ログは端からカケヤやゴムハンマーで叩きながらしっかりとめ込んでいこう。もちろん、サネが割れないように、必ず当て木を使おうね。  
 そうそう、ログがしっかりとまらない場合、開いているところをよく見ながら、端、中心、端で打ち込むとはまりやすいよ。  
 2人以上で協力して打とう。



## ポイント②

45mmログはビス止め、68mmログは木ダボ止め。  
 (穴を開ける必要があるよ)  
 必ずかしいけど、電機線を見せたくない場合は、ログ材にうまく穴を開けてみよう。



ログの積み上げは、一番楽しい作業だね。まるで「大人の積み木」という感じがな。ログハウスの場合、その構造上、ひとつの面だけどんどん積み上げるのではなく、縦横交互にはめていくんだ。だから、みんなで協力して積み上げていくのが一番効率が良いんだよね！例えば、四方の壁は時計回りで順々に組んでいくといいよ。

図面を見ながらログを渡す人、ログを積んでカケヤではめ込む人など、役割分担を決めて、効率よく仕上げていこうね！落ち着いて、慎重に…。でも、一番重要なのは、「楽しみながらやる」ことだよ！

# 6 壁組み・失敗?!・どうしよう?!



## ポイント①

どうしてもログがうまくはまらない場合、板の反り具合を見て押す、引く、ねじる、2~3人で一度に体重をかけるなど、状況に応じて修正しながら入れていくといいよ。

## ポイント②

もしログ材が割れちゃっても、心配しないで。つぶれていない限りは、そのまま組んでも問題はないんだ。上下左右のログとピッタリはまっちゃえば、見た目はほとんどわからないし、ね。そのあと、上からビスでしっかりとめておけば、なおGOOD。



※68m以上の場合、デッキ柱の下にジャッキを取り付けます。かざり柱の下に穴が開いているよ。



## ポイント③

図面は指示役以外の作業員も、まめに見てチェックしようね。壁がある程度積みあがったら、図面は壁に貼って全員でみられるようにするといいね。数字があてればミスはないよ！

壁がどんどん高くなっていくのは楽しいね！でも、調子に乗って積み上げていくと、思わぬ落とし穴が待っていることだって、あるんだよ。番号を間違えたり、一段飛ばしちゃったり、長さの違う部材を組んじゃったり、ログの向きが上下さかさまだったり…。

間違いに早く気が付けばいいけど、最悪の場合、せっかく積み上げたログをひとつひとつ外すことにもなっちゃうよね…。やっぱり、図面をちゃんと見るのが基本だよ。